

勤医協苦小牧病院

苦小牧市見山町1丁目8番23号 ☎(0144)72-3151



外来待合の風景



社団法人北海道勤労者医療協会
勤医協苦小牧病院
院長 宮崎 有広

1981年北海道大学医学部卒。北海道勤労者医療協会に所属。2003年4月から苦小牧病院院長。日本消化器内視鏡学会専門医、同学会指導医、日本消化器病学会専門医、日本医師会認定産業医、インフェクション・コントロール・ドクター（ICD）。

受付時間：月～土／8:00～11:30（午前）
月・火・木／14:00～16:30（午後）
夜間診療：金／16:00～19:00
休診日：日・祝日、原則として第2、第4土曜日、年末年始
<http://www.kin-ikyotomakomaibyoin.jp/top.html>

急性期から回復期、訪問診療までの入院治療と在宅療養を支える

1981年4月の開院以来、「働くものの医療機関」として勤労者の生活と健康を支える医療を実践している。2003年には「優しさと思いやりあふれ、信頼される病院」をめざして、「医療・福祉宣言」を策定。地域住民と心通い合う病院づくりに力を入れている。

診療科目は、内科と整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科の4科。2階は、内科と整形外科の混合一般病棟。3階は、回復期リハビリテーション病棟を合わせて80床。ヘリカルCTやMRI、X線テレビ、内視鏡、超音波診断装置（エコー・UCG）などの医療機器を完備。在宅訪問診療、訪問リハビリテーションまで兼ね備え、治療から回復期・在宅まで貫いた治療を行っている。さらに低所得者、生活困窮者らのための無料低額診療も行い、地域医療を支える。

宮崎院長は「弱い人のよりどころとなる病院をめざしていきたい。患者さんの立場に立ち、優しさを忘れないで日々診療を行っていききたいと思えます」と語る。

苦小牧市夜間・休日急病センター

苦小牧市旭町2丁目9番2号 ☎(0144)35-0001



ゆったりとした待合ロビー

第一次地域医療の要を担う

主に軽症の急病患者を受け入れる医療機関として、苦小牧市旭町の苦小牧保健所跡地に今年4月オープンした。運営主体は、近接する財団法人苦小牧保健センター（理事長、沖一郎苦小牧市医師会会長）。診療科目は内科と小児科。半年が経過し、早くも苦小牧と周辺地域の第二次医療の要として機能している。

旧施設に比べ、施設、スタッフともに大幅に充実した。鉄筋コンクリート平屋建て570平方メートル。エックス線撮影装置や超音波診断装置など最新の医療機器を備え、感染症患者の隔離室も設置した。経過を見たり、点滴を受ける観察ベッドは6床。専任医師2人と市医師会所属の開業医、大学病院からの派遣医師がローテーションを組む、増加する患者に対応している。

救急医療をめぐるでは、重症患者のための第二次医療機関である総合病院にこれまで軽症患者も集中する傾向にあり、一刻を争う重症患者の治療への影響や、当直医の過重労働が問題視されていた。

2科目体制だが「総合診療を心がけています」と語る畔蒜（あびる）センター長。「スタッフの増員と救急医療を担う人材養成を図りたい」と意欲的だ。

1977年札幌医科大学卒業。同大第2内科入局。84年、苦小牧王子総合病院循環器科勤務。同病院副院長を経て、2008年10月苦小牧保健センターに勤務。09年4月からは苦小牧保健センター、苦小牧市夜間・休日急病センターの両センター長を兼務。

診療時間：月～金曜日／19:00～翌日7:00
土曜日／14:00～翌日7:00
日曜日・祝日／9:00～翌日7:00



苦小牧市夜間・休日急病センター
センター長 畔蒜 正義